

平成21年度

航路標識整備事業 補正予算配分概要

目 次

- I. 平成21年度航路標識整備事業補正予算配分方針・・・・・・・・・・ 1
- II. 平成21年度補正予算配分総括表・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- III. 事業別概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- IV. 配分箇所の具体事例・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

平成21年5月

I. 平成21年度航路標識整備事業補正予算配分方針

(1) 低炭素革命

○ 航路標識のクリーンエネルギー化

温室効果ガスの排出量の削減が求められていることを鑑み、灯台などの航路標識の電源を商用電源から太陽光発電を利用したクリーンエネルギーにすることや、航路標識の光源を白熱電球からLEDなどの高効率な光源に変更し、航路標識の消費電力を削減する省エネルギー機器の導入が必要な箇所に配分する。

(2) 安全・安心確保等

○ 海上交通センターの信頼性強化

海上交通センター等に設置している機器や施設について、海上交通センターの安定した運用を確保するため、システム障害に対応するVHF通信体制の信頼性強化及び電源設備の信頼性強化等の整備を早急に整備が必要な箇所に配分する。

○ 航路標識の防災・安全対策（機能維持等）

安全で効率的な海上交通の確保を図るため、施設、機器等の老朽等により標識機能の確保が困難となっている箇所について、局舎、鉄塔などの修繕、機器等の老朽更新、通行困難となっている巡回路等の整備が必要な箇所に配分する。

Ⅱ. 平成21年度補正予算配分総括表

[総事業費]

(単位：百万円)

区 分	経済危機対策			備 考
	本省配分	一括配分	計	
航路標識事業				
直轄	7,850	0	7,850	
補助	0	0	0	
計	7,850	0	7,850	
直轄	7,850	0	7,850	
補助	0	0	0	
合 計	7,850	0	7,850	

Ⅲ. 事業別概要

「低炭素革命」

太陽光発電

公共建築物・住宅等への太陽光発電の導入促進等

1. 背景・目的

温室効果ガスの排出量の削減が求められていることを鑑み、灯台などの航路標識の電源を商用電源から太陽光発電を利用したクリーンエネルギーにすることや、航路標識の光源を白熱電球からLEDなどの高効率な光源に変更し、航路標識の消費電力を削減する省エネルギー機器の導入を推進することにより二酸化炭素排出量の削減を図る。

2. 平成21年度補正予算額

事業費：1,096百万円

3. 事業（経費）の概要

灯台などの航路標識の電源を商用電源から太陽光発電を利用したクリーンエネルギーにすることや、航路標識の光源を白熱電球からLEDなどの高効率な光源に変更し、航路標識の消費電力を削減する省エネルギー機器の導入を実施する。

・航路標識のクリーンエネルギー化

だいにかいほ
第二海堡灯台（千葉県富津市）など

98箇所（106施設） 1,096百万円

4. 事業効果

事業実施により、航路標識機器の消費電力を減少し、二酸化炭素排出量を削減することができる。

Ⅲ. 事業別概要

「安全・安心確保等」

防災・安全対策

交通の安全確保対策

1. 背景・目的

安全で効率的な海上交通の確保を図るため、海上交通センターの信頼性強化や、航路標識の防災・安全対策（機能維持等）を図る。

2. 平成21年度補正予算額

事業費：6,754百万円

3. 事業（経費）の概要

海上交通センター等の航路標識の機器の老朽更新や施設の修繕等を実施する。

(1) 海上交通センターの信頼性強化

かんもんかいきょうかいじょうこうつう

関門海峡海上交通センター（福岡県北九州市）など

6箇所（6施設） 4,095百万円

(2) 航路標識の防災・安全対策（機能維持等）

しもつおきのしま

下津沖ノ島灯台（和歌山県有田市）など

83箇所（104施設） 2,659百万円

4. 事業効果

事業実施により、標識機能の安定維持が図られ、安全で効率的な海上交通の確保を図ることができる。

IV. 配分箇所の具体事例

1. 低炭素革命 航路標識のクリーンエネルギー化

都道府県名	箇所名	配分額	事業概要
千葉県 (富津市)	<small>だいにかいほ</small> 第二海堡灯台	百万円 683	灯台などの航路標識の電源を商用電源から太陽光発電を利用したクリーンエネルギーにすることや、航路標識の光源を白熱電球からLEDなどの高効率な光源に変更し、航路標識の消費電力を削減する省エネルギー機器の導入を実施する。

IV. 配分箇所の具体事例

2. 安全・安心確保等

(1) 海上交通センターの信頼性強化

都道府県名	箇所名	配分額	事業概要
福岡県 (北九州市)	<small>かんもんかいきょうかいじょうこうつう</small> 関門海峡海上交通センター	百万円 1,060	事業実施により、海上交通センターの安定した運用が確保され、安全で効率的な海上交通の確保を図ることができる。

(2) 航路標識の防災・安全対策（機能維持等）

都道府県名	箇所名	配分額	事業概要
和歌山県 (有田市)	<small>しもつおきのしま</small> 下津沖ノ島灯台	百万円 30	事業実施により、標識機能の安定維持が図られ、安全で効率的な海上交通の確保を図ることができる。